

『令和7年度 全国学力・学習状況調査』結果概要のお知らせ

初冬の候、保護者の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に対しまして温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、令和7年4月に実施しました6年生対象の「全国学力・学習状況調査」の結果概要がまとまりましたので、今後の改善の方向と併せてお知らせいたします。

なお、この調査により測定できるのは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面であることをご理解いただきたく存じます。今後とも、本校教育活動にご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

全国学力・学習状況調査の内容

○教科に関する調査（国語・算数・理科）

- ・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ・知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力

○生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

- ・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

【国語科に関する調査の結果概要及び課題と改善の方向性について】

【知識及び技能】

- 『言葉の特徴や使い方に関する事項』
全国平均を下回っている。
- 『情報の扱い方に関する事項』
全国平均を下回っている。
- 『我が国の言語文化に関する事項』
全国平均を下回っている。

【思考力・判断力・表現力等】

- 『話すこと・聞くこと』
全国平均を下回っている。
- 『書くこと』
全国平均を下回っている。
- 『読むこと』
全国平均を下回っている。

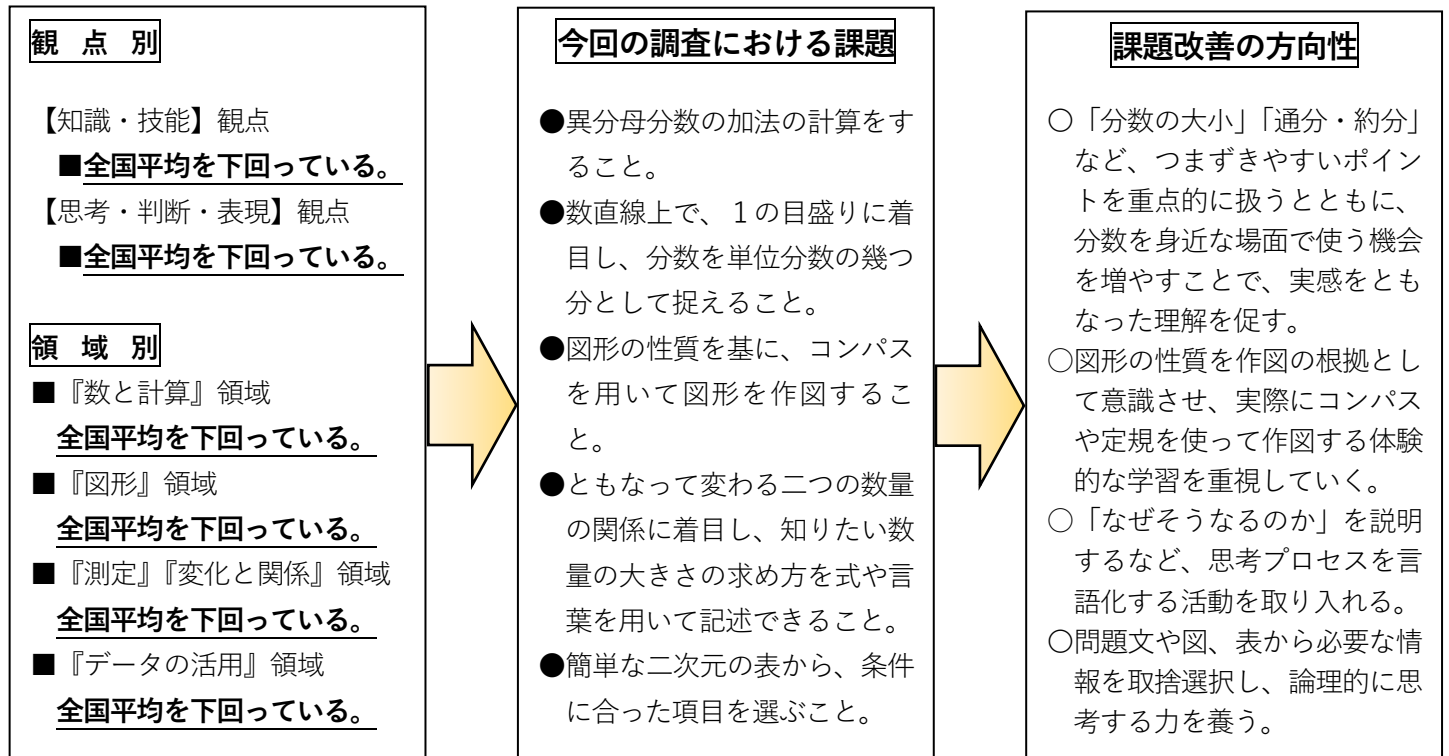
今回の調査における課題

- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。
- 原因と結果など情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方について理解していること。
- 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付くこと。
- 自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えること。
- 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。
- 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。

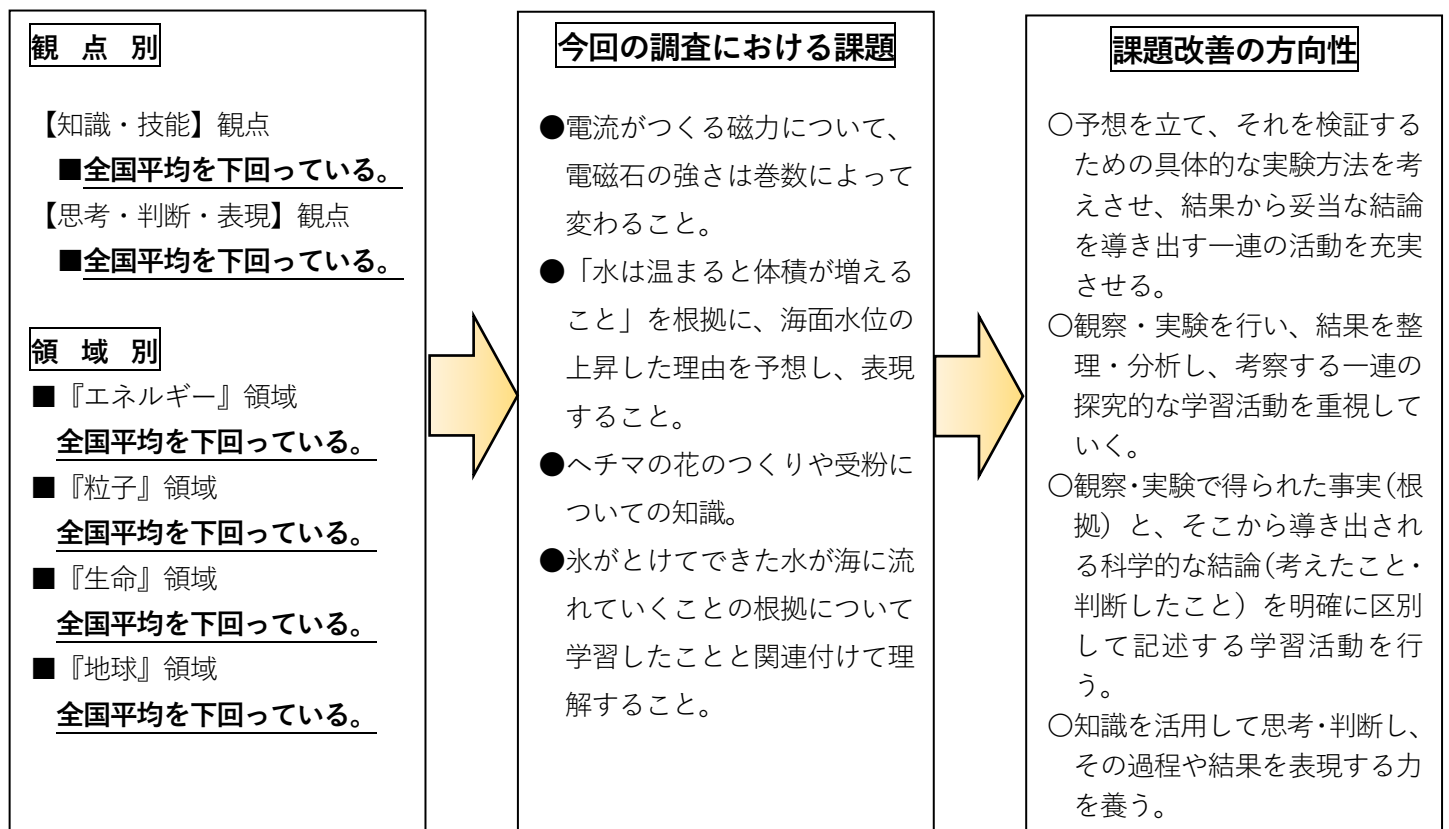
課題改善の方向性

- 教育活動全体を通して、文章を書く場面では、これまで以上に漢字を使うことを意識して取り組む。
- 思考ツールを活用するなど、情報を整理する活動を充実させていく。
- 言語文化の変化や違いについて興味をもたせるような教材を積極的に活用する。
- メモを取るなど、話の意図や要旨を的確に捉えられるような活動を取り入れる。
- 自分の考えの中心をまとめたり、考えを詳しく記述したりするなど、目的に応じた書き表し方ができるような活動を充実させる。

【算数科に関する調査の結果概要及び課題と改善の方向性について】



【理科に関する調査の結果概要及び課題と改善の方向性について】



【生活習慣や学習環境に関する質問紙調査にかかわって】

肯定的な回答が多かったもの

- 朝食を毎日食べていますか。
- 人が困っているときは、進んで助けていますか。
- 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。
- 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。
- 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。
- あなたは自分がインターネットを使って情報を収集することができますと思いますか。
- 学級の友達との間で話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。
- 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。
- 理科の授業では、観察や実験をよく行っていますか。
- タブレットなどの ICT 機器を活用することについてできること「友達と協力しながら学習を進めることができる」

否定的な回答が多かったもの

- 困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。
- 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。
- 自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができると思いますか。
- 5年生までの授業で、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。
- 国語の勉強は得意ですか。
- 算数の勉強は得意ですか。
- 理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。
- 理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できていますか。



今回の調査における傾向と課題改善の方向性

- 「毎日朝食を食べている」ことから、健康的な生活リズムで学校生活を送っていることがわかりました。落ち着いて学習に取り組むための土台ができています。
- 「困っている友達を助きたい」「人の役に立ちたい」「いじめは許されない」と考えている児童が多く、友達を大切にしようとする気持ちが育まれています。
- 「先生が自分のよいところを認めてくれている」「幸せな気持ちになることがある」というところから、子どもたちが安心して学校生活を送っていることがうかがえます。しかしながら、「困ったことがあるときに、先生や学校にいる大人に相談できるか」という質問では、一部の児童が相談のしにくさを感じている結果が見られました。学校では、担任だけでなく学年や養護教諭、担任外、まなびのサポーター、スクールカウンセラーとも連携し、子どもたちが気軽に相談できるような声かけや環境づくりを進めてまいります。
- 「国語の学びが将来役に立つ」「理科で観察や実験がよく行われている」など、子どもたちが学習の価値をしっかりと感じている様子が見えます。また、「話し合い活動で新しい考えに気付ける」と答えた児童が多く、学級の中に話し合える雰囲気と安心感があることが見えます。自分の考えを交流し、協働しながら学ぶ姿が広がっています。日々の授業の中で小さな成功体験を積み重ね、「この教科が得意」と自信につなげられるよう、段階的な学習と丁寧なサポートを進めてまいります。
- ICT を使った学びに積極的で、インターネットを使った情報収集や、タブレットを使って友達と協力する学習など、タブレットを文房具のように活用することで学び方に自信をもつ児童が増えています。一方で、タブレットを使った「図・表・グラフ・思考ツールなどでの情報整理」に苦手意識をもつ児童が多い結果となりました。授業の中で操作方法と活用方法を身に付けられるよう、引き続き取り組んでいきます。
- 家庭学習については、無理のない範囲で「習慣として続ける」ことが大切です。学校でも、学年に応じた家庭学習の在り方について改めて指導してまいります。

今後も、子どもたちが自分らしく安心して過ごし、さらに成長していけるよう、学校全体で取り組んでまいります。引き続き、ご家庭のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。